

IIIIII2024 年度 総会報告 IIIIII

無印・・・2023 年 4 月～2025 年 3 月

★印・・・2024 年 4 月～2026 年 3 月

去る 2024 年 3 月 29 日(金), オンライン開催において 2024 年度総会が開催された。以下に議事を報告いたします。

1. 会長挨拶
2. 選挙結果報告

役員選挙結果

<得票総数 71件> 有効票 69件、白票 2件

候補者氏名 (五十音順)	所 属	得 票
後藤 琢也	同志社大学	66
桜井 誠人	宇宙航空研究開発機構	69
白鳥 英	東京都市大学	65
鈴木 進補	早稲田大学	65
豊島 悠輝	Space BD(株)	65
橋本 望	北海道大学	66
水口 尚	琉球大学	66
山中 淳平	名古屋市立大学	66

<新役員名簿>

会 長 野村 浩司 (日本大学)

副会長 (編集委員長/JASMAC-35 プログラム委員長)
今井良二 (室蘭工業大学)

副会長 (次期会長) 渡邊匡人 (学習院大学)

庶 務 桜井 誠人 (宇宙航空研究開発機構) ★

会 計 橋本 望 (北海道大学)

理 事 宇宙惑星居住科学連合連携
桜井誠人 (宇宙航空研究開発機構)

学会顕彰 水口 尚 (琉球大学)

企画・戦略 (IF 取得)
田川俊夫 (東京都立大学)

ニュースペースとの連携
豊島悠輝 (Space BD(株)) ★

ペイロード・地上実験
山本 信 (株) IHI 検査計測)

学術会議対応 (若手の会) /JASMAC 学生表彰
白鳥英 (東京都市大学) ★

JASMAC-34 開催 山中淳平 (名古屋市立大) ★

JASMAC-35 開催 水口 尚 (琉球大学) ★

JASMAC-36 開催 後藤 琢也 (同志社大) ★

広報 (HP・SNS・他)
鈴木進補 (早稲田大学) ★

白鳥英 (東京都市大学) ★

桜井誠人 (宇宙航空研究開発機構) ★

監 事 (会計監査)
渡邊 勇基 (株) エイ・イー・エス)

<賛助会員企業一覧>

【3 口会員】 1 社 (株) IHI エアロスペース富岡事業所

【1 口会員】 2 社 ダイヤモンドエアサービス(株)
(一財) 日本宇宙フォーラム

<2023 年度会員異動報告>

入会: 正会員 6 名
学生会員 14 名 計 20 名

退会: 正会員 11 名
学生会員 6 名 計 17 名

除名 正会員 2 名
学生会員 0 名 計 2 名

<2024 年 3 月 15 日現在会員数>

正会員 116 名
学生会員 35 名
永年会員* 14 名
顧問 3 名
賛助会員 3 件 (5 口) 計 168 名, 3 件

3. 役員の選任
4. 新役員挨拶

■2023 年度活動報告■

活動について各担当理事より事業報告があった。

【協賛報告】2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日

承諾日 会議名/主催団体/会期

4/10 「第 20 回流動ダイナミクスに関する国際会議 (ICFD2023)」《ハイブリット開催》 ICFD
東北大学 流体科学研究所 2023.11.6-8

5/30 「2023 年生態工学会年次大会」 高崎健康福祉
大学農学部 2023.6.24-25

6/22 「日本熱物性シンポジウム 2023」 日本大学
生産工学部 津田沼キャンパス 2023.11.7-9

8/4 「第 61 回燃焼シンポジウム」 日本燃焼学会 秋
田アトリオン 2023.11.15-17

8/25 「第 51 回結晶成長国内会議 (JCCG-51)」 日本
結晶成長学会 ウインクあいち 2023.12.4-6

【事業報告】

1 月 20 日 編集委員会事前打合せ

1 月 24 日 第 130 回編集委員会

3 月 8 日 理事会打合せ

3 月 24 日 総会予行練習

3 月 27 日 2023 年度理事会・総会

4 月 5 日 JASMAC-35 打ち合わせ

4 月 12 日 編集委員会事前打合せ

4 月 13 日 JASMAC-35 実行委員会

4月18日 第131回編集委員会
6月9日 JASMAC-36について打合せ
6月15日 JASMAC-35 プログラムについて打合せ
7月13日 毛利先生と打合せ
7月18日 第132回編集委員会
8月31-9月1日 若手夏の学校2023(山梨県)
9月7日 JASMAC-35 打合せ
9月15日 JASMAC-35 リハーサル
9月28日 JASMAC-35 実行委員会
10月12日 第133回編集委員会
10月16日 JASMAC-35 リハーサル
10月25-27日 JASMAC-35 開催
10月26日 2023年秋季理事会・総会
11月4-5日 若手の会活動(広島大学大学祭)

【若手の会活動報告】

微小重力科学 若手夏の学校 2023

日程: 8/31-9/1

- ・場所: シャトレゼホテル 荏崎
- ・内容: 講師によるレクチャー, 研究紹介, 懇親会
- ・参加者数: 40名

微小重力科学の研究成果の発信

日程: 11/6

- ・場所: 広島大学の学祭
- ・内容:
 - ・ポスター展示(JASMAC等で発表済みのもの)
 - ・学会の活動内容のパンフレット製作・配布

オンライン交流会・幹事会

- ・回数: 年に10回
- ・場所: オンライン
- ・内容: イベントの企画・準備, 研究室紹介等
- ・参加者: 各大学・機関の代表者12名

【表彰関係事業】

JASMAC-35にて表彰

1) 2023年度学会賞: 小田原 修

2) 2023年度論文賞:

「Status of the Electrostatic Levitation Furnace in the ISS -Surface Tension and Viscosity Measurements」
Takehiko ISHIKAWA, Chihiro KOYAMA, Hirohisa ODA, Hideki SARUWATARI, Paul-François PARADIS, Int. J. Microgravity Sci. Appl. (2022) p390101

3) 2023年度若手奨励賞:

小林 由央(早稲田大学)

佐伯 琳々(広島大学)

郵送にてJASMAC-35 学生口頭発表表彰

- ・JASMAC-35 学生口頭発表最優秀賞受賞者

松浦 勇翔(山口大学)

「単一アンモニア液滴の着火方法調査と微小重力場・高圧雰囲気における燃焼速度定数計測」

河本 幹太(同志社大学)

「密閉型ガスジェット浮遊装置による Hypercooling limit を利用した金属の融解熱測定」

花本 慶(岐阜大学)

「炭素繊維強化プラスチックの下方燃え拡がり挙動のモデル化」

【広報事業報告】

- ・JASMA 広報事業の進め方を担当理事で協議した。
- ・「JASMA」とは何か、に答えられるパンフレットを若手の会で作成した。JASMA でも積極的に活用することを依頼した。

【学会誌発行事業】

Vol.40-1 (2023.1)

・proposal of Temperature Correction of Molten Oxide Based on Its Emissivity for Measurement of Temperature Dependence of Its Density Using ELF in ISS/ Seijiro TAGUCHI, et.al.

・Study on the Sloshing Behavior under Microgravity Condition Targeted for a Propellant Tank (Dynamic Liquid Behavior in Axially Applied Acceleration)/ Ryoji IMAI, et al.

Vol.40-2 (2023.4)

・Constant Pressure Heat Capacity of Molten Yttrium Measured by an Electrostatic Levitator/ Takehiko ISHIKAWA, et al.

・Behaviors of Liquid Partially Filled in Sealed Vessels under Normal Gravity Conditions – Toward On-orbit Experiment aboard the ISS – /Shogo CHINO, et al.

Vol.40-3 (2023.7)

・Suppression of Bubble Formation in Levitated Molten Samples of Ti6Al4V with TiC for Hetero-3D at the International Space Station (ISS)/ Chihiro HANADA, et al.

・Surrogate Models for the Magnitude of Convection in Droplets Levitated through EML, ADL, and ESL Methods/ Takuro USUI, et al.

・Development of an Electrostatic Levitator for Measurements of Thrust by Laser Ablation/ Koya UEDA, et al.

Vol.40-4 (2023.10)

・Comparative Analysis of Cool Flame Oscillation Occurred Around a Single Fuel Droplet and a Droplet Pair Using a Phase Space/ Kazuki IEMURA, et al.

・A Method of Immobilizing Colloids in Polymer Gels Used in the "Colloidal Clusters" Space Experiment Project/ Honoka KOMAZAWA, et al.

・Elimination of Systematic Error in Diffusion

Measurement Using In-situ X-ray Fluorescence Analysis for Liquid Alloys/Yoshihiro KOBAYASHI, et al.

●Vol.1-No.1 から現在まで全ての論文を J-stage 公開済み

【編集委員会事業】

インパクトファクターの取得について：

過去2年の引用をしてもらえるように査読者に引用のチェックをしてもらい、確実に引用数が増えた。引き続き引用件数増加の努力をしていく。

編集方針：

今後国際論文誌としての立場を確立する目的で、各号に幾つかの分野の論文を掲載する編集方針に変更し、編集委員を増加し分野の拡大をした。全編集委員の協力のもと、論文数増加を継続している。順調に論文数を確保できる体制が整ってきた。

【会計報告】

<2023 年度決算>

2023 年度決算、橋本望理事（会計担当）および渡邊監事による監査結果について報告され、質疑応答の後承認された。

<2024 年度予算>

2024 年度予算案が、橋本望理事（会計担当）より示され、質疑応答の後承認された。

■2024 年度事業活動計画■

活動計画について各担当理事より報告があった。

【JASMA 活性化事業】

・微小重力科学 若手夏の学校 2024

2023 年度の内容をベースに継続

学生からの発信を増やす（発表実績にできるように）

参加大学・機関の拡大（開催日程の早期調整・周知）

宇宙惑星居住科学連合(SUHPHS)からの話題提供(予定)

・微小重力科学の研究成果の発信、交流会・幹事会

【表彰関係事業】

2024 年度日本マイクロ重力応用学会学会賞公募

2024 年度日本マイクロ重力応用学会論文賞公募

2024 年度日本マイクロ重力応用学会研究奨励賞公募

2024 年度日本マイクロ重力応用学会若手奨励賞公募

・4月に公募、締め切りは5月31日

JASMAC-36 学生口頭発表賞選考

【学会誌発行事業】

e-journal「IJMSA」Vol.41 No.1～4（2024）の発行（Web）

Vol.41-1 1月末（発行済み）

Vol.41-2 4月末発行、1月末入稿〆切

Vol.41-3 7月末、4月末入稿〆切

Vol.41-4 10月末、7月末入稿〆切

【イベント事業】

・JASMAC-36 開催

日時：2024 年 9 月 10 日（火）～9 月 12 日（木）

場所：同志社大学

実行委員長：後藤 琢也（同志社大学）

・The 14th AMS, 1-6 December, IIT Madras, Chennai, India

【広報事業】

JASMA 広報事業の進め方を担当理事で協議し下記の方策を検討している。

・JASMA ホームページの更新の頻度を上げる。Twitter、YouTube など SNS による配信を強化する。

・JASMA 主催によるセミナーの開催。New Space の交流の場を提供する。

・学会として高校等への出張授業を受け付ける。

・JASMAC への民間企業の参画を強化する（企業展示や特別講演など）。

・過去の宇宙実験の動画を集めて、JASMA ホームページから閲覧できるようにする。

